牛 肉 情 勢

5月12日 更新　JA全農ミートフーズ株式会社

項目		内容
供給	1.国産	○ 3月の成牛と畜頭数は、92.8千頭と前年を上回った(前年比102.7%)。 内訳を見ると、和牛:40.5千頭(前年比102.5%)、交雑牛:21.9千頭(同109.0%)、乳牛去勢:11.1千頭(同90.9%)となった。 ○ 4月の成牛と畜頭数は、速報値(4月30日まで集計)で92.9千頭と前年を上回った(前年比100.4%)。 ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測(4月26日公表)によると、4月の出荷頭数は、全品種での増加が見込まれることから、前年同月を上回ると予測する。 5月も全品種で出荷頭数の増加が見込まれることから、前年を上回ると予測する。 (4月97.9千頭(前年比105.3%)、5月87.7千頭(前年比104.2%)) そのため、3か月平均(3月～5月)でも、出荷頭数93.3千頭(前年比104.5%)、生産量29.9千ﾄﾝ(同105.5%)と前年を上回る予測となっている。
	2.輸入	○ 3月の輸入通関実績は、全体で36.8千ﾄﾝと前年を上回り(前年比108.5%、前月比96.9%)、内訳ではチルド;17.8千トン(前年比105.2%、前月比133.4%)、 フローズン;19.0千ﾄﾝ(前年比111.7%、前月比77.1%)となった。輸入相手国別では、チルドは豪州やカナダが増加した。 一方でフローズンは、米国からのショートプレートが伸長し、カナダも前年を上回ったが、その他の国からの輸入が減少した。 (参考:形態別相手国別輸入数量) チルド　　:米国8.8千ﾄﾝ(前年比90.8%)、豪州7.6千ﾄﾝ(同140.9%)、カナダ0.7千ﾄﾝ(同103.3%)、ニュージーランド0.3千ﾄﾝ(同90.3%)、メキシコ0.2千ﾄﾝ(同64.8%) フローズン :米国8.4千ﾄﾝ(同175.7%)、豪州5.3千ﾄﾝ(同86.1%)、カナダ3.0千ﾄﾝ(同197.8%)、メキシコ1.2千ﾄﾝ(同53.9%)、ニュージーランド0.9千ﾄﾝ(同79.8%) ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測によると、チルドの輸入量は、米国産は現地価格の高騰等により、4月、5月ともに前年を下回ると見込んでいる。フローズンは4月、5月は豪州産の取引価格高止まり等に加え、前年同月の輸入量が多かったこと等から、前年を下回ると見込んでいる。3か月平均でも、チルド・フローズンともに前年同期を下回ると見込んでいる。 令和5年4月　合計;56.3千ﾄﾝ(前年比91.5%)、チルド;18.0千ﾄﾝ(同87.9%)、フローズン;38.3千ﾄﾝ(同93.4%) 令和5年5月　合計;41.5千ﾄﾝ(前年比90.7%)、チルド;17.0千ﾄﾝ(同83.0%)、フローズン;24.5千ﾄﾝ(同97.0%) 直近3か月(3月～5月)平均 合計;44.7千ﾄﾝ(前年比95.1%)、チルド;17.5千ﾄﾝ(同90.8%)、フローズン;27.2千ﾄﾝ(同98.1%)
需要	1.家計消費	○ 総務省発表の3月度家計調査報告によると、全国二人以上の1世帯当たり牛肉購入量は466g(前年比87.6%)、支出金額が1,596円(同91.8%)となり、 購入量および支出金額は前年下回った。(※2019年度同月比:購入量 81.6%、金額 95.5%)
	2.小売動向 3月概況	○ 日本スーパーマーケット協会など食品関連スーパー3団体の3月の販売統計速報によると、畜産部門の売上高は1,139億円(前年比102.1%、既存店ベース101.5%)と前年を上回った。 相場高が続き、買上点数の減少は続いているが、豚肉や鶏肉ではやや回復傾向がみられた。牛肉は焼肉用の動きは良いが、和牛など高単価商品の動きが鈍い。豚肉は輸入品の価格高騰より国産が良好となっている。鶏肉は鳥インフルエンザの影響による高値が続くが良好に推移する店舗が多い。低価格商品に需要がシフトしており、売上高は確保できても利益が出にくい状況が続いている。 ○ 日本チェーンストア協会が公表した3月販売概況によると、畜産品の売上は873.2億円(店舗調整後で前年比98.4%)となり、前年を下回った。 豚肉、鶏肉の動きは良かったが、牛肉の動きは鈍かった。鶏卵の動きは良かったが、ハム・ソーセージの動きは鈍かった。
	3.外食 3月概況	○ 日本フードサービス協会がまとめた外食産業市場調査3月度結果報告によると、歓送迎会や春休みシーズンで個人や家族客の中小宴会が増加したことにより、全体売上は前年比118.8%、2019年比では101.5%と好調となった。しかし、大規模宴会や夜遅い時間帯の集客は弱い。3/13よりマスク着用が個人の判断に委ねられ、コロナ規制緩和の動きが一層明確になってきた。 業態別; ①ファーストフード　前年比110.9%、2019年度比113.2%　消費意欲が高まり値上がり基調も消費者に浸透し始めたこと、歓送迎会やWBC観戦等でテイクアウト需要により売上伸長 ②ファミリーレストラン　前年比126.2%、2019年度比 93.3%　コロナ規制の大幅緩和や消費促進キャンペーン等で春休みの家族客が増加。焼肉店は春休み・卒業シーズンで団体客が戻り好調。 ③ディナーレストラン　前年比136.2%、2019年度比 89.1%　大口の法人利用は戻らないものの、中規模の歓送迎会やインバウンド客・個人客が増加し、客単価も伸び売上上昇 ④居酒屋　前年比182.6%、2019年度比 60.0%　個人客やインバウンド需要の堅調が続き、送迎会等の中小宴会が回復傾向で売上増、会社需要は戻りが鈍い
	4.輸出	○ 3月の輸出実績は764.8t(前年比129.9%)と前年を上回った。香港向けが106t(同113%)、台湾向けが148t(同184%)と大きく増加したことに加え、 カンボジア向けが先月に続き増加傾向となったこと(75t、同139%)等から上回った。
在庫	1.在庫	○ (独)農畜産業振興機構の需給予測によると、3月末の推定期末在庫量は149.7千ﾄﾝ(前年比117.1%、前月比96.6%)と前年を上回った。 内訳は、輸入品;137.1千ﾄﾝ(前年比119.6%、前月比96.1%)、国産品;12.6千ﾄﾝ(同95.6%、同102.4%)となり、輸入品は前年実績を上回ったが、国産品は下回った。 なお、今後の期末在庫の推移は、4月末;154.1千ﾄﾝ(同122.3%)、5月末;156.1千ﾄﾝ(同119.3%)と、前年を上回って推移すると見込まれている。
枝肉相場	1.R5年4月 速報値	○ 4月の東京市場枝肉卸売価格(速報値;4月30日時点)は、和牛去勢A5が2,634円(前年比98.0%)、A4が2,341円(同94.5%)、交雑牛B3が1,521円(同95.1%)、 乳牛去勢B2が1,107円(同97.9%)であった。 ○ 4月の相場は、例年よりGWが長期連休となったことから、行楽需要等の増加が期待されたことで需給が引き締まり、上旬は高値で推移した。 しかし、消費者の生活防衛意識が依然高く、内食需要の低迷から中旬以降は弱含みでの推移となったことで、前月は上回ったが前年は下回った。
	2.R5年 5月 予測	○ 5月の相場は、内食需要はGW行楽需要の反動から軟調が見込まれるが、新型コロナ規制の更なる緩和により訪日外国人の増加などによる外食需要の復調に 期待感が出てきていることから需要面では底堅いものの、出荷頭数が和牛・交雑種とも前年より増加することから前年・前月より弱含みで推移するものと見込まれる。 乳牛去勢牛は、輸入牛肉(チルド)の増加により代替需要が減少していることに加え、内食需要の低迷から弱含みを見込む。

◎ 枝肉相場予想:東京市場【税込】

	3月実績		4月速報値		5月予測		6月予測	
・和牛去勢 「A-5」:	2,578円	(97.5%)	2,634円	(98.0%)	2,550円	(98.6%)	2,550円	(97.9%)
・和牛去勢 「A-4」:	2,255円	(93.8%)	2,341円	(94.5%)	2,250円	(99.1%)	2,250円	(94.5%)
・交雑去勢 「B-3」:	1,441円	(94.2%)	1,521円	(95.1%)	1,450円	(90.5%)	1,450円	(95.9%)
・乳牛去勢 「B-2」:	929円	(87.4%)	1,107円	(97.9%)	950円	(85.7%)	950円	(87.6%)

部分肉相場		
1.R5年 5月 予測	◎ 首都圏仲間価格【税抜】　【和牛:4等級】	【ホルス:2等級】　【交雑牛:3等級】

	【和牛:4等級】	【ホルス:2等級】	【交雑牛:3等級】
・和牛カタセット(スネなし) :	3,050円	・ホルスカタセット(同) : 1,900円	・交雑牛カタセット(同) : 2,100円
・和牛ロースセット(ヒレなし):	6,450円	・ホルスロースセット(同): 3,050円	・交雑牛ロースセット(同) : 4,250円
・和牛モモセット(スネなし) :	3,700円	・ホルスモモセット(同) : 1,900円	・交雑牛モモセット(同) : 2,300円
・和牛トモバラ :	2,150円	・ホルストモバラ : 1,200円	・交雑牛トモバラ : 1,400円

備考

○国内生産量の推移(単位:千頭・%)

暦年	和牛計		交雑牛計		乳牛去勢計		成牛計	
	頭数	前年比	頭数	前年比	頭数	前年比	頭数	前年比
R1年	457.8	101.1	236.7	94.9	167.9	94.4	1,038.6	98.8
R2年	477.2	104.2	227.8	96.2	161.6	96.2	1,047.1	100.8
R3年	483.1	101.2	228.9	100.5	154.5	95.6	1,054.6	100.7
R4年	490.2	101.5	248.6	108.6	140.8	91.4	1,083.1	103.0
R4年　12月	46.9	99.1	23.0	107.8	11.2	90.1	98.6	101.3
R5年　1月	36.1	102.8	20.0	107.3	10.4	89.7	83.9	103.1
R5年　2月	36.1	107.5	19.6	110.5	10.7	93.4	82.9	106.9
R5年　3月	40.5	102.5	21.9	109.0	11.1	90.9	92.8	102.7

※成牛計は、乳牛雌やその他品種も含まれるため数字が一致しない

○輸入量の推移(単位:千ﾄﾝ, %)

暦年	輸入数量合計		チルド数量		フローズン数量	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
R1年	615	101.3	275	98.6	340	103.6
R2年	600	97.6	262	95.1	339	99.5
R3年	585	97.4	264	100.9	321	94.7
R4年	560	95.4	217	83.0	343	104.3
R4年　11月	39.4	92.5	17.6	107.2	21.8	83.2
R4年　12月	37.4	81.9	15.5	74.3	22.0	88.3
R5年　1月	39.9	98.8	16.1	98.4	23.8	99.0
R5年　2月	38.0	100.6	13.3	81.1	24.7	115.5
R5年　3月	36.8	108.5	17.8	105.2	19.0	111.7

＊財務省:
通関実績

○総務省:家計消費量(ｸﾞﾗﾑ, 円, %)

暦年	全国1世帯当り				チルド数量	フローズン数量	合計	前年比
	数量	前年比	金額	前年比				
R1年	6,558	97.6	21,178	96.8	2,066	2,274	4,339	121.9
R2年	7,199	109.8	23,677	111.8	2,341	2,503	4,845	111.6
R3年	6,748	93.7	23,210	98.0	3,490	4,388	7,879	162.6
R4年	6,232	92.4	22,355	96.3	3,737	3,717	7,454	94.6
R4年　12月	652	90.3	3,084	103.4	392.7	485.3	878.1	93.3
R5年　1月	491	90.3	1,783	100.1	205.8	225.4	431.1	93.5
R5年　2月	442	96.3	1,554	98.9	314.3	326.8	641.1	139.0
R5年　3月	466	87.6	1,596	91.8	396.0	368.9	764.8	129.9

○輸出量の推移(単位:ﾄﾝ、%)

○市況の推移:　東京市場(税込み、単位:円/kg、%)

暦年	和牛去勢A-5		和牛去勢A-4		交雑牛去勢B-3		乳牛去勢B-2	
	価格	前年比	価格	前年比	価格	前年比	価格	前年比
R1年	2,732	97.3	2,408	97.4	1,626	106.7	1,016	97.8
R2年	2,459	90.0	2,103	87.3	1,398	85.9	924	91.0
R3年	2,702	109.9	2,427	115.4	1,554	111.1	1,004	108.6
R4年	2,607	96.8	2,348	96.9	1,523	98.1	1,042	102.4
R4年12月	2,688	95.0	2,399	93.1	1,583	102.6	1,029	94.9
R5年1月	2,553	97.7	2,291	97.7	1,468	100.1	922	90.0
R5年2月	2,511	99.0	2,190	96.8	1,370	96.1	913	91.8
R5年3月	2,578	97.5	2,255	93.8	1,441	94.2	929	87.4
R5年4速報値	2,634	98.0	2,341	94.5	1,521	95.1	1,107	97.9

農水省食肉流通統計
(速報値は農畜産業振興機構が公表する東京市場の平均枝肉価格)